

犬のフン害対策「イエローチョーク作戦」について

1. 目的・概要

犬のフンを道路などに放置している飼い主がいます。犬のフンを放置することは周囲の人を困らせ、不愉快な気持ちにさせます。

そこで、地域の住民が主体となって、放置された犬のフンを黄色いチョークで囲むことにより、その飼い主に地域ぐるみでフンの放置は許さない、放置対策に取り組んでいるという地域の態度を示し、飼い方のマナーの向上を図り、フンの放置をなくしていこうという取り組みです。

2. 経緯と今後の取組

昨年9月から片田自治会の協力を得て試行（モデル実施）を行いました。

「少しずつ効果が表れている」と報告を受け、取り組み（試行）を全町的に広げるため、広報はやしま12月号で参加者を募集しています。希望の方がおられましたら、自治会・町内会長様に連絡をさせていただきますので、ご理解とご協力をお願いします。

3. 実施主体

個人及び団体（自治会・町内会、子ども見守り隊、老人クラブなど）

4. 配布物品

・イエローチョーク、作戦マニュアル（裏面）

イエローチョーク作戦

イエローチョーク作戦とは、路上等に放置されている犬のフンを減らすため、フンの周囲を黄色のチョークで囲うことで、飼い主に困っている人や迷惑を被っている人がいることを伝え、自発的な回収を促す取り組みです。

《イエローチョーク作戦のやり方》

- ① 犬のフンを黄色のチョークで囲む。
- ② 囲んだ横に、フンを発見した日時を書く。

※放置されているフンを強調することで、飼い主に警告するため、フンは片付けない。

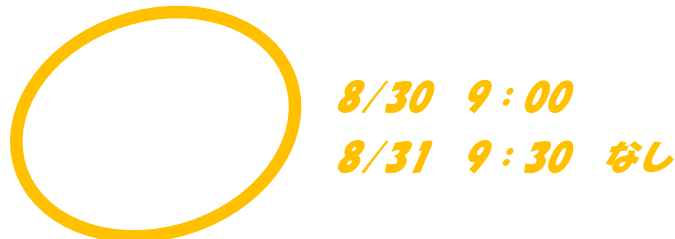


- ③ 日または時間を変えて、再度確認する。
- ④ フンが残っていたら、再度確認日時を書く。

※次回のフンの放置を予防するため、「パトロール中」と書くのも効果的です。



- ⑤ フンが無くなっていたら、確認日時と「なし」と書く。



- ⑥ ①～⑤を繰り返す。

※許可なく私有地や他人の管理地には書かないでください。

※実施の際は、交通事故等に十分ご注意ください。